様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	姉妹都市交流事業	コード	165106

2 担当部課	部等	企画政策部	課等	秘書広報課　秘書担当	作成者	金子　　郷

3 事業概要				
目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
	政　　策	総合計画の推進に向けて	施　　策	その他
予算科目		姉妹都市交流事業費	業務委託	なし（直営）
実施義務		その他（内部事務等）	国県補助	なし
根拠法令		なし		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		諏訪大社下社御柱祭及び岡谷太鼓祭りへ姉妹都市関係者を招待するとともに、各都市のイベント等に参加する。
目的	対象者	市民
	意　図	姉妹都市間の相互理解を深めるとともに交流の充実を図る。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

〇諏訪大社下社御柱祭での交流（４月７日～８日）
　内　容：富岡市、玉野市、東伊豆町の関係者（市・市議会）を招き交流を深めた。
　参加者：富岡市８名、玉野市４名、東伊豆町８名、岡谷市１１名　　合計３１名
〇岡谷太鼓祭りでの交流（８月１３日～１４日）
　内　容：富岡市、玉野市、東伊豆町の関係者（市・市議会・商工会議所・観光協会）を招き交流を深めた。
　参加者：富岡市１１名、玉野市３名、東伊豆町１３名、岡谷市２８名　　合計５５名
〇玉野市の「たまの・港フェスティバル」に参加（７月２３日～２４日）
　内　容：市、商工会議所、観光協会等から６名が参加し、交流を深めた。
〇東伊豆町の「稲取温泉どんつく祭り」に参加（６月３日～４日）
　内　容：市、市議会、商工会議所、観光協会から１５名が参加し交流を深めた。

前年度の課題への対応	姉妹都市のイベント等へ参加する中で岡谷市のＰＲを行った。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）				単位　回
実績値	4	3	4	
＊指標の説明				
② 成果指標（指標名）				単位
目標値	84	69	90	73
実績値	80	73	107	
達成度	95.2%	105.8%	118.9%	
＊指標の説明	交流事業への直接的な参加人数（富岡市とは隔年交流）			
＊目標値の設定方法の説明	前々年度実績数値による（富岡市とは隔年交流）			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	294,446	255,262	876,012	584,000
経常経費	294,446	255,262	162,680	384,000
臨時的経費	0	0	713,332	200,000
＊臨時的経費の説明	H28：諏訪大社下社御柱祭に伴う姉妹都市交流事業費　H29富岡市庁舎完成記念品			

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		800,000	800,000	800,000	800,000
正規職員の人数（人）		0.10	0.10	0.10	0.10
③ 合計コスト（①＋②）		1,094,446	1,055,262	1,676,012	1,384,000
前年度比			96.4%	158.8%	82.6%
財源内訳	一般財源	1,094,446	1,055,262	1,676,012	1,384,000
	特定財源				
＊特定財源の説明					
④ 活動一単位あたりコスト		273,612	351,754	240,670	
前年度比			128.6%	68.4%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
姉妹都市交流事業開催市負担金	件数	1	1	1	1
	金額	134,500	151,347	110,780	189,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	134,500	151,347	110,780	189,000
	割合	45.68%	59.29%	12.65%	32.36%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性**　**高い**

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。　成果指標の実績値　前年度比　146.6%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。　成果指標の目標値　達成度　118.9%	1	

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 直接的に市民も参加できる姉妹都市交流事業の実施
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 現在、祭事を中心に姉妹都市交流を行なっているが、民間レベルでの姉妹都市交流の充実や、 別の形の交流を検討する。
改善開始時期	平成２９年４月から

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	